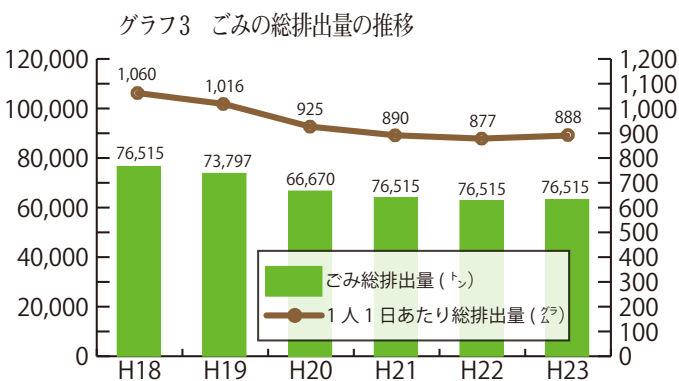
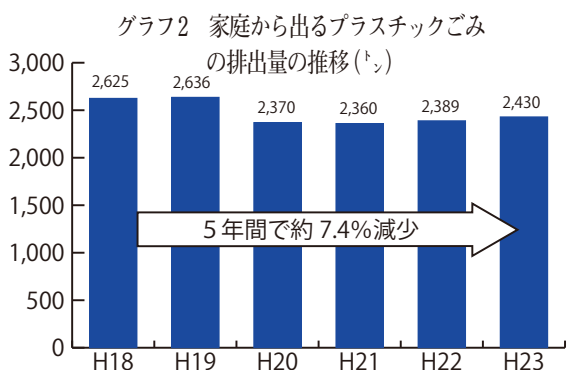
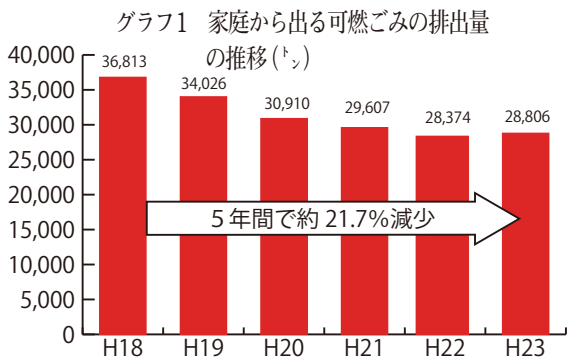


自然豊かな美しいまちへ

まち全体でごみの減量化を推進しましょう

年間のごみの量

本市の家庭から出されたごみの量は、有料指定袋の制度が始まった平成19年10月以降、約5年間で、有料化前の平成18年度と比較して、可燃ごみで約21.7割、プラスチックごみで約7.4割減少しました。みなさまのご協力のおかげで、ごみの量が少なくなっています。(グラフ1、2)



しかし、最近の1年間で比較すると、平成23年度の1年間で、可燃ごみは前年度比で1.5割、プラスチックごみは前年度比1.7割増加しています。(グラフ1、2)

本市が策定した第9次総合計画では、「平成27年度までに1人1日あたりのごみの総排出量を856gにする」という目標を掲げています。その中間目標として、平成23年には、その数値を883gにするよう計画されていますが、平成23年度に出されたごみの量は、1人1日あたり888gとなり、あと一歩で達成できませんでした。(グラフ3)

ごみの減量にご協力を

環境への負荷を軽減し、本市の恵まれた自然環境を次世代に継承するためには、みなさん一人ひとりのごみの減量化への協力が必要です。

例えば、生ごみの水きりを徹底したり、家庭で生ごみを堆肥化したりするなど、生ごみを少なくすること。また、不要なレジ袋を断わるなど、身近なところからごみの減量努力をお願いします。

また、積極的にごみの減量や再資源化に取り組んでいる事業所を優良事業所として認定して、活動の促進を図っていくなど、平成27年度までのごみの削減目標の達成に向け、ごみの減量を推進していきます。

問い合わせ先 本庁舎生活環境課
0857-20-3218

平成23年度有料指定袋収支報告

・収入 3億1746万円
・支出

使途	金額
有料指定袋流通経費	6512万円
廃品回収実施団体奨励金	2076万円
資源ごみ収集委託料	1億8928万円
自然エネルギー導入補助金	2144万円
その他生ごみ堆肥化施策費など	2086万円

段ボールコンポスト講習会を行います!

家庭で行える生ごみ削減方法として、近年全国に広がっている段ボールコンポストの普及のため、講習会を開催します。

とき・ところ

鳥取市人権交流プラザ：7月26日、8月1日、3日
河原町総合支所第二庁舎：7月30日
気高中央公民館：8月7日
宮下地区公民館：8月9日
※時間はいずれも10:00～11:00

参加料 無料

定員 各20人(先着順)
締切 7月17日(火)必着
※申し込みは、希望日(第一希望・第二希望)・住所・氏名・電話番号を明記し、郵送・ファクシミリ・電子メールのいずれかで下記問い合わせ先まで。

問 本庁舎生活環境課
〒680-8571 鳥取市尚徳町116
TEL 0857-20-3218 FAX 0857-20-3045
MAIL kankyo@city.tottori.lg.jp

10月1日からレジ袋の無料配布は中止されます

これまでの取り組みと成果

鳥取県・市町村・事業者で構成する「ノーレジ袋推進協議会」では、これまで毎月10日を「ノーレジ袋デー」とし、マイバッグの利用を呼びかけ、レジ袋削減を推進してきました。その結果、市民のみなさんのご協力により、鳥取県東部のスーパーマーケットでのレジ袋辞退率は41・4割（平成23年12月現在）と、県平均の34・4割を上回る高い水準となっています。また、さらにレジ袋辞退率を上げるための方法として、レジ袋無料配布の中止が検討され、この度10事業者の賛同が得られたため、鳥取県東部地区が先行して10月1日からの実施に至りました。

具体的には次のとおりです。

問い合わせ先 本庁舎生活環境課 ☎ 0857-20-3218

1. レジ袋の単価は袋の大きさを問わず一律5円とする。
 2. レジ袋を辞退したことに よるポイントの付与、値引き等各社独自の取り組みを実施している場合は取り止めることとする。
 3. 収入は環境保全活動に利用する（各事業者が決定する）
- 環境への第一歩です。今後も、レジ袋削減、マイバッグ運動推進にご協力いただきますようお願いいたします。

■レジ袋無料配布中止実施事業者（10事業者46店舗）

実施事業社名	実施店舗名
イオンリテール(株)	イオン鳥取北店、イオン鳥取店、イオン津ノ井店
(株)エスマート	湖山店、湯所店、川端店、末広店、吉成店、桜谷店、緑町店、つのい店
(株)サンマート	湖山店、北園店、南店、岩倉店、郡家店、青谷店、岩美店、東店、西店
大黒天物産(株)	ラ・ムー鳥取店
(株)天満屋ハッピーマート	郡家店
(株)トスク	本店、雲山店、河原店、吉成店、吉方店、佐治店、用瀬店、いわみ店、若桜店、ちづ店、ふなおか店、丹比店
(株)戸信	ダンクショップ鳥取環境大学店、コンビニショップ鳥取県庁売店
(株)マルイ	湖山店、宮長店、薬師町店
(株)マルワ渡辺水産	マルワプロマート鳥取卯垣店、鳥取相生店、鳥取弥生店、スーパーマルワ美萩野店
(有)森フードセンター	湖山ストア、ショッピングセンタージョイス浜村店、ショッピングセンタージョイス徳尾店

家庭でも節電を行い、電力不足に備えましょう

節電メニューの中から実施できるものをチェックし、節電効果を目安にご協力ください。日中、会社や学校にいる人は、④冷蔵庫、⑦温水洗浄便座、⑩待機電力 による節電をお願いします。

節電メニュー	節電効果*	チェック
①室温28℃を心がける。	10%	
②“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげる。 (エアコンの節電になります)。	10%	
③無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する。 ※除湿運転や頻繁なオンオフは電力の増加になる場合がある。	50%	
④冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込みすぎないようにする。	2%	
⑤日中は不要な照明を消す。	5%	
⑥テレビを省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。	2%	
⑦温水洗浄便座の温水のオフ機能、タイマー節電機能を利用する。	1%未満	
⑧⑦の機能がない場合、使わない時はコンセントからプラグを抜く。	1%未満	
⑨ご飯はまとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する。	2%	
⑩リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切る。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く。	2%	

※資源エネルギー庁推計、在宅家庭の日中の最大使用時（約1,200㏞）に対する削減率の目安

7月7日(七夕)はクールアースデー

地球温暖化防止のため、まずできることから始めましょう。

環境省では、午後8時～10時までの2時間一斉消灯を呼び掛けています。

七夕の日、電気を消して、地球と私たちの未来について想いをめぐらせてみませんか。

